

Godox 神牛

WITSTRO⁺ ウィストロ AD600^{Pro}
オールインワンアウトドアフラッシュ
All-in-One Outdoor Flash



深圳市神牛摄影器材有限公司
GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深圳市宝安区福永镇福洲大道西新和村华发工业园A4栋
Building A4, Xinhe Huafa Industrial Zone, Fuzhou RD West, Fuyong
Town, Baoan District, Shenzhen 518103, China
電話 /Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス /Fax: +86-755-25723423
電子メール/E-mail: godox@godox.com

705-AD600P-09

Made In China



取扱説明書

はじめに

安全に本製品を使用することを確保するため、予め本取扱説明書をよく読んでください。

必要な時にすぐに取り出せるように大切に保管してください。

この度は神牛の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ウィストロAD600ProオールインワンアウトドアフラッシュはワイヤレスTTL高出力フラッシュであり、リチウム電池と本体が一体化されており、携帯に便利です。内蔵神牛2.4GワイヤレスXシステムを採用しており、Xpro、X1シリーズトリガーと合わせると、リモートでTTL/M/Multiモードを制御してAD600Proの発光をトリガーでき、また、TTLマスター・スレーブ機能を通じて、神牛TTLカメラフラッシュ、TTLアウトドアフラッシュ、TTLスタジオランプと合わせて使用できます。AD600Proフラッシュを使用することによって、より簡単な撮影体験を得ることができます。光線の変化が複雑な状況で、自動に正しい発光露出を獲得でき、撮影がより手軽になります。

ウィストロAD600Proフラッシュはパワーが強く、電池容量が大きく、始終ハイスピードをサポートし、1台の本製品が太陽光より強く、むき出しフラッシュチューブとスタンダードリフレクターが屋外撮影と実景撮影に優れた光質を提供できます。AD600Proはオフカメラフラッシュにおける絶対的なタイプであり、携帯性と高効率光質を兼ね備えており、フリーランスカメラマン、新聞記者、マニア、撮影ファン、ウェディングドキュメンタリーカメラマンなどの理想的な光源です。



本製品は下記のメリットがあります。

- **ウルトララピッドリサイクル**：0.9s(最大パワー)。
- **コンスタント色温度**：全パワーレンジ段階動き±75Kの範囲内（コンスタント色温度モード）。
- **LEDモデリングランプ**：38W高出力LEDモデリングであり、その輝度は自由に調整できます。
- **精密な調光**：パワー調整範囲が大きく（1/1-1/256）、25段で精密に微調整でき、発光効率をより手軽に把握できます。
- **高級機能**：1/8000秒ハイスピードシンクロ、ハイスピードストロボ、ハイスピードリモコンシンクロトリガーなどをサポートします。
- **ワイヤレスTTLシステム完全互換**：Canon、Nikon、Sony、FUJIFILM、Olympus、Panasonicなどの自動発光システムをサポートできます。ワイヤレス多灯発光システムのスレーブユニットとすることができ、撮影は簡単で便利です。
- **ワイヤレスコントロール**：神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しています。外付けの場合、神牛FT-16リモコンを使用でき、フラッシュのパワーをワイヤレスでコントロールし、また、シンクロにフラッシュをトリガーできます。同時に、3.5mmシンクロジャックがあり、複数シンクロトリガー方式を実現できます。
- **マトリクス液晶ディスプレイ**：表示は直感であり、操作はより手軽です。
- **スタジオ光質**：パワーは600Wsに達しており、ガイドナンバーはGN87(ISO100、高効率リフレクター使用)です。
- **豊かなアクセサリ**：マウントはBowensマウントを採用しており、10種類以上の発光効率強化用アクセサリと組み合わせることができ、小型で携帯に便利であり、豊かで実用です。

警告

- ▲ 乾燥を保ってください。
- ▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、弊社または授權された専門業者よりチェックし、メンテナンスします。
- ▲ 子供の手の届かないところに置いてください。
- ▲ 分解したり、ショックしたり、押ししたり、火の中に投げたりしてはいけません。厳しく膨らむと、引き続き使用しないでください。
- ▲ 50℃を超えた高温環境に置かないでください。
- ▲ フラッシュヘッドを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そうしないと、短時間に視力障害を起こす恐れがあります。
- ▲ 化学品、可燃性ガスまたは他の特殊物質の近くでフラッシュを使わないでください。これらの物質は特殊な状況でフラッシュに対し瞬間的な強光過敏を起こし、火災または電磁干渉をもたらす恐れがあります。このような場合、関係警告マークを参照してください。
- ▲ 本製品は防水できないため、雨天または湿っぽい環境で防水に注意してください。
- ▲ いかなる故障が起こった場合、直ちに電源を切ってください。

目次

01	はじめに
02	警告
05	部品名称
	本体
	液晶ディスプレイ
	標準添付品
	別売オプション品
08	リフレクター（またはアクセサリ）の着脱方法
08	フラッシュチューブの着脱方法
08	フラッシュ角度の調整
09	電池
10	電源管理
10	ワイヤレスモードの選択
11	発光モード——TTL自動発光モード
	 フラッシュ露出補正
	 ハイスピードシンクロ
12	発光モード——M：手動発光
	色温度コンスタント機能
14	発光モード——Multi：ストロボ発光
15	ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送
	ワイヤレス設定
	通信チャンネルの設定
	通信グループの設定
	ワイヤレスフラッシュ撮影
18	C.Fn：カスタム機能の設定
19	モデリングランプ
19	他の応用
	外付けワイヤレスコントロール機能
	シンクロソケットトリガー
20	保護機能
21	仕様
22	トラブルシューティングガイド
22	ファームウェアアップグレード
22	メンテナンスと保守

本取扱説明書の中で使われている約定

- 本取扱説明書に記載された操作ステップはカメラとフラッシュの電源スイッチがONにされているとします。
- ページ参照は（**ページ目）の形式で表示されます。
- 本取扱説明書は下記の警告マークを使います。
- ▲ この「留意」マークは撮影問題を避けるための警告です。
- ⓘ この「注意」マークは補充情報を提供する意味を表します。

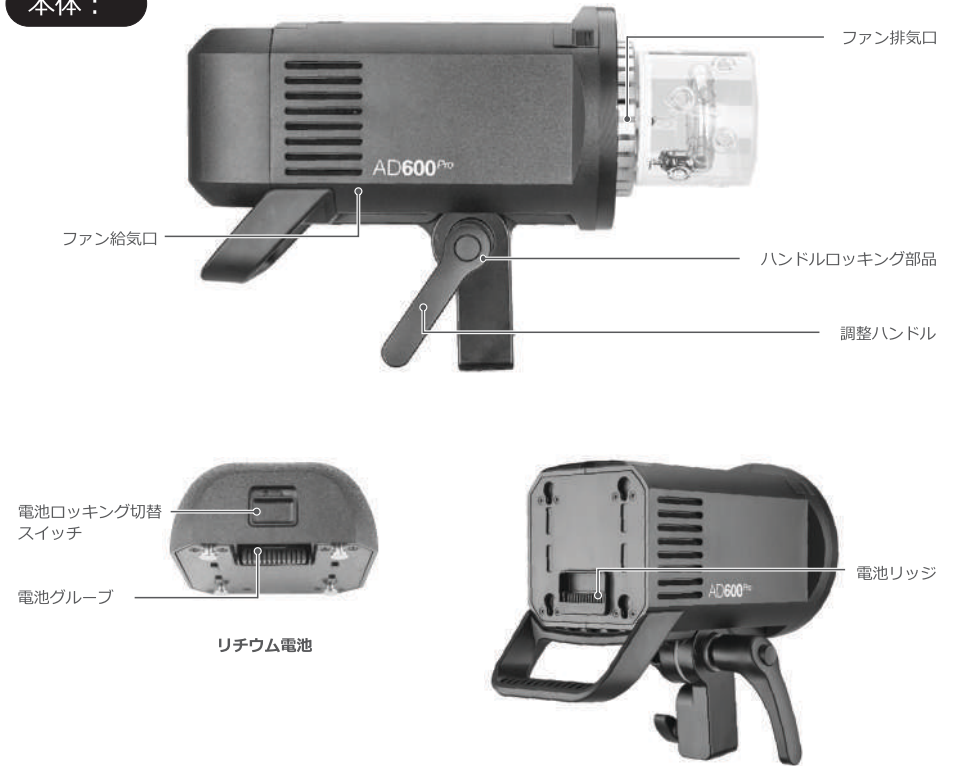
部品名称

本体：



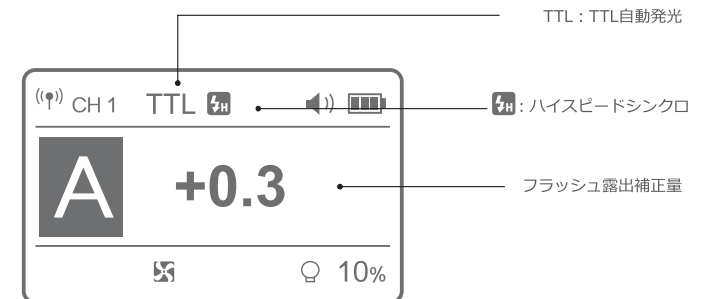
部品名称

本体：



液晶ディスプレイ

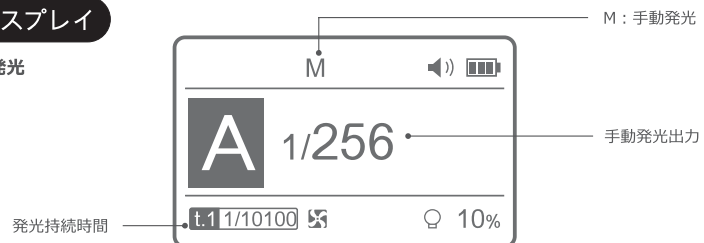
(1) TTL自動発光



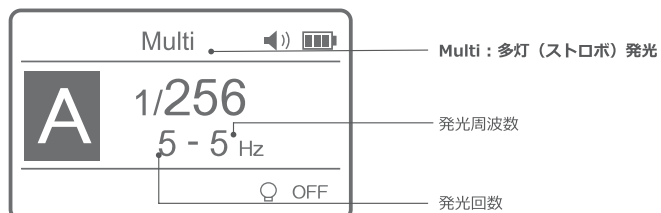
部品名称

液晶ディスプレイ

(2) M手動発光

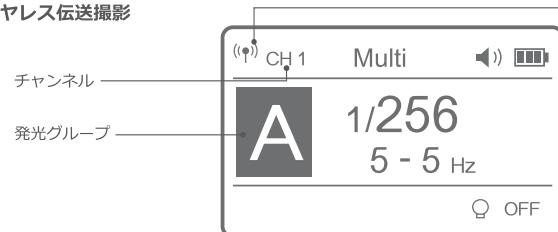


(3) Multiストロボ発光

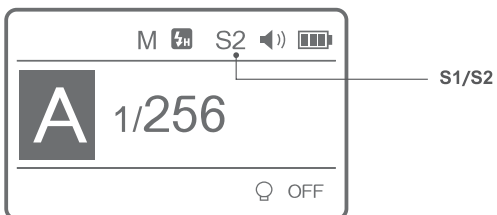


(4) ワイヤレス伝送撮影

(P) : ワイヤレス伝送ワイヤレス撮影



(5) ワイヤレス光制御撮影



標準添付品

1、フラッシュチューブ 2、リチウム電池 3、充電器、4、電源ケーブル 5、リフレクター 6、取扱説明書



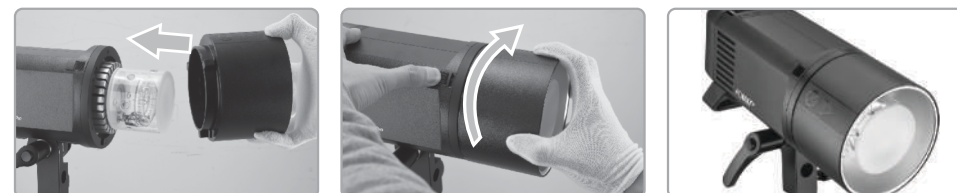
部品名称

別売オプション品

AD600Proは弊社の下記の撮影アクセサリと合わせて使うことによって、最適な撮影効果と使用体験を獲得できます。XProフラッシュトリガー、X1フラッシュトリガー、FT-16リモコン、ソフトボックス、レーダーカバー、折りたたみソフトボックス傘型、スマート、ホルダーなど

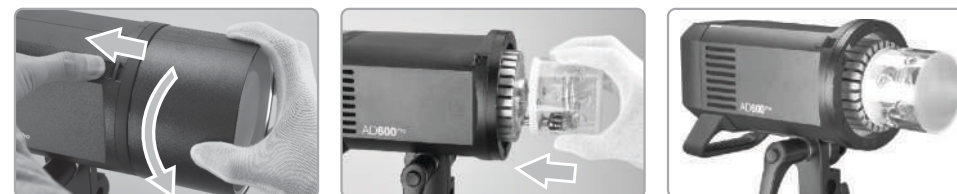


リフレクターの着脱方法



1. フラッシュカバーロック切替スイッチを回します。
2. リフレクターをアクセサリマウントに差し込んで時計回りに沿って回してロックします。

フラッシュチューブの着脱方法



1. フラッシュカバーロック切替スイッチを回し、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。
2. フラッシュチューブをフラッシュソケットに合わせ、フラッシュを差し込みます。

● 注：輸送中、破損を避けるため、フラッシュチューブを取り外してください。

フラッシュ角度の調整



1. ハンドルロック部品が抜き出された状態で、時計回りに回すとロックし、反時計回りに回すとアンロックします。
2. フラッシュ角度の調整はランプ本体下方の0~180°に制限され、フラッシュ本体にぶつかる前にハンドルロック部品を引き出して回転角度を調整してから、ステップ1を実行します。

電池

特徴

- 1.本製品はリチウム電池を使っており、300回の充放電サイクルをサポートし、耐用期間が長いです。
- 2.安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護を有しています。
- 3.付属している電池充電器を使う場合、2時間ぐらいで満充電になります。

注意事項

- ▲ 正極と負極の短絡を避けてください。
- ▲ 電池は防水機能を有していないため、電池を霧または水の中に浸さないでください。
- ▲ 子供の手の届かないところに置いてください。
- ▲ 充電する場合、電池を24時間以上放置しないでください。
- ▲ 電池を涼しくて乾燥と通気の良いところに保管してください。
- ▲ 電池を火の近くまたは火の中に置かないでください。
- ▲ 電池を廃棄する時に地元のルールに従って処理してください。
- ▲ 長期間にわたって使わない場合、60%まで充電してから置いてください。
- ▲ 3ヶ月以上電池を使わなかった場合、電池を充電してください。

電池の着脱

電池の装着：



- 1 電池のリッジを本体の電池グループと合わせます。



- 2 ロックされるまで電池を下へ押しします。

電池の離脱：



- 1 右へロック部品を軽く推します。




- 2 上へ電池を押し出します。

電池

電池残量表示

リチウム電池を正しくフラッシュに取り付けると、フラッシュに給電できます。使用時に、フラッシュのディスプレイにある電池アイコンをチェックするだけで電池残量を把握できます。

LCDディスプレイ残量符号表示 (フラッシュシステム全体に対する電池残量表示と管理)	電池におけるLED表示 (ノンロードで、電池残量に対する表示と管理)	意味/残量100%
3グリッド	赤色1+緑色3	75% ~ 100%
2グリッド	赤色1+緑色2	50% ~ 75%
1グリッド	赤色1+緑色1	25% ~ 50%
フレーム	赤色1	3% ~ 25%
低残量、充電提示 	2%赤色に点滅します 1%インジケータ消灯します	2%以下になると、電池容量がすぐ切れます、この状態でフラッシュの操作をサポートしません。前の1分間においてアラーム提示を出す、3分後に自動にシャットダウンします。 注：この状態になると、直ちに（10日内）充電してから、使用したり、放置したりすることができます。

注：表示はほとんど一致しているが、段階切替時にすこし差別があります。

電源管理

*ON/OFFボタンを1秒長押しして、本製品の起動とシャットダウンを制御できます。長時間にわたって使わない場合、電源を切ってください。本製品は電源自動シャットダウン機能を有しています。C.Fn-STANDBY設定中、長期間（30~120分）で操作しなかった場合、フラッシュは自動にシャットダウンします。

ワイヤレスモードの選択

AD600Proはスレーブユニット（レシーバ側）のみに利用されます。ワイヤレスボタンによってワ切り替える時、内蔵ワイヤレス伝送と外付けワイヤレス伝送という2種類のワイヤレスモードがあります。

発光モード——TTL自動発光モード

このフラッシュはTTL自動発光、M手動発光とMultiストロボ発光という三つのモードを有しています。TTLモードで、カメラの測光システムは被写体から反射して返ってきた発光照明を計測し、自動に発光出力を調整し、被写体と背景を均一に露出させます。

<MODE>モード選択ボタンを押すと、三つの発光モードは順次に液晶ディスプレイに表示されます。


TTLモード

* <MODE>モード選択ボタンを押して、フラッシュを<TTL>に設定することによって、フラッシュをTTLモードに入らせます。

フラッシュ露出補正

当該フラッシュは±3段の間で1/3段をステップとしてフラッシュ露出補正を調整できます。環境の原因でTTLシステムを微調整する必要がある場合、この機能は非常に役立ちます。


フラッシュ露出補正の設定：



- 1 <SET>設定ボタンを押すと、フラッシュ露出補正量はハイライト表示されます。
- 2 フラッシュ露出補正量を設定します。
 - 調整つまみを回して、露出補正量を設定します。
 - 「0.3」は1/3段を示し、「0.7」は2/3段を示します。
 - フラッシュ露出補正を取り消したい場合、フラッシュ露出補正量を「+0」に設定するだけで良いです。
- 3 <SET>設定ボタンを押して、フラッシュ露出補正を確認します。

ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP発光）を使うと、あらゆるシャッター速度でシンクロにフラッシュを使うことができます。ハイスピードシンクロモードで、絞り優先を使って人物に対し充填発光を行なう時に特別に便利です。



- 1 ハイスピードシンクロボタンを押して、ディスプレイに<FP>アイコンを表示させます。
- 2 トランスミッターはXProまたはX1シリーズトランスミッターを使ってください。

- シャッター速度はカメラの最大フラッシュシンクロ速度に等しいか、それより遅い場合、ファインダーの中に<FP>アイコンを表示しません。
- ハイスピードシンクロを使う場合、シャッター速度は高いほど、有効発光範囲は小さくなります。
- 普通発光に回復したい場合、再度ハイスピードシンクロボタンを押してください。<FP>アイコンは消えます。
- ハイスピードシンクロモードで、ストロボ発光を設定できません。
- 引き続きハイスピードシンクロ発光を50回行った後、フラッシュの熱保護機能はイネーブルにされる可能性があります。

発光モード——M：手動発光

1/256パワー～1/1フルパワーの間で1/3段をステップとして発光出力を設定できます。正しいフラッシュ露出を獲得するため、手持ちのフラッシュ測光表を使って必要とする発光出力を確定してください。



- 1 <MODE>モード選択ボタンを押して、ディスプレイに<M>を表示させます。
- 2 調整つまみを回して、発光出力パワーを設定します。
- 3 <SET>設定ボタンを押して、発光出力パワーを確定します。

発光出力の表示

撮影過程で発光出力を変更する時、下記の表は例えば1/2-0.3→1/2+0.3のようにはっきりと絞り値の変更方法を示しています。発光出力を増やしたり、減らしたりする時に、絞り値の変更ルールをチェックすることができます。例えば、発光出力量を1/2、1/2-0.3または1/2-0.7に減らして、それからそれを1/2、1/2+0.3、1/2+0.7以上に増やした場合、1/1に表示されます。

発光出力指数の減少 ⇨

1/1	1/1-0.3	1/1-0.7	1/2	1/2-0.3	1/2-0.7	1/4
	1/2+0.7	1/2+0.3		1/4+0.7	1/4+0.3	

⇨ 発光出力指数の増加

S1光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、<MENU>ボタンを押して、C.Fn-SLAVEに入り、S1機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使い、複数の照明効果を創り出すことができ、手動発光環境に適用されます。これはメインフラッシュの第1回発光と同調して発光をトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使うことと一致します。

S2光制御ユニットの設定

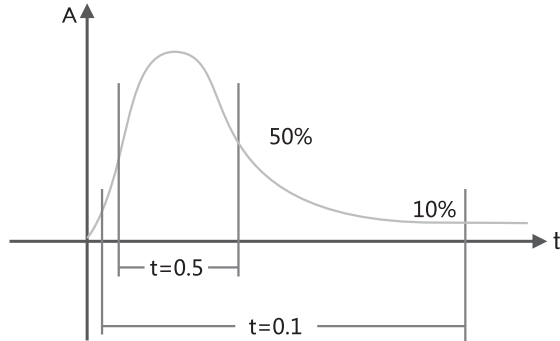
<MENU>ボタンを押して、C.Fn-SLAVEに入り、S2機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、TTL発光環境に適用します。予備発光機能を持ち、1回予備発光機能付きのカメラを使う時に光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはメインフラッシュの第2回発光と同調して発光をトリガーでき、即ち、2回光制御トリガーです。

- MモードのみでS1/S2光制御トリガーモードをサポートします。

発光モード——M：手動発光

発光持続時間の表示

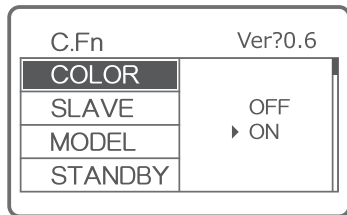
発光持続時間はフラッシュが発光開始から発光半値幅に達するまでの時間長さを指します。半値幅の表示は $t = 0.5$ です。カメラマンにより詳しい撮影数値を提供するため、本製品は $t = 0.1$ を採用しています。 $t = 0.5$ と $t = 0.1$ の区別は下記の図に示す通りです。



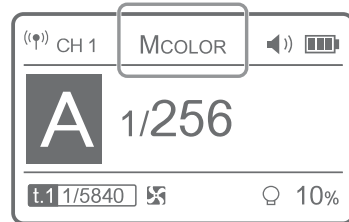
● Mモードのみで持続時間を表示します。

色温度コンスタント

この機能を使うと、フル段階色温度ドリフトは $\pm 75K$ ぐらいです。MENU C.Fn-COLORに入り、ONに設定し、色温度コンスタントが起動します。Mモードでパワー値は大きい側から小さい側へ調整される時、トリガーボタンインジケータが点滅します（ブザーが1分間鳴ります）。この時にトリガーボタンを押して放電してから、はじめて正常に使用できます。

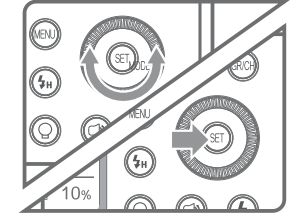
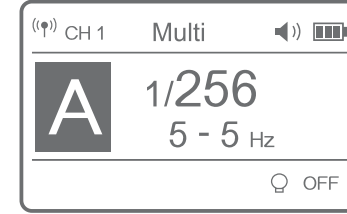
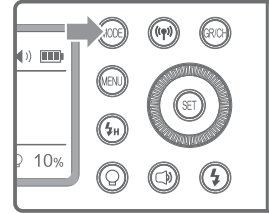


● Mノンハイスピードモードのみで色温度コンスタントをサポートします。



発光モード——Multi：ストロボ発光

ストロボ発光を使用して、快速なシリーズ発光を出すことができます。このモードで1枚写真の上で移動被写体の複数画像を撮影できます。この機能を持って、発光周波数（秒毎の発光回数、Hzで表示されます）、発光回数と発光出力を設定できます。



1 <MODE> 発光モード選択ボタンを押すと、ディスプレイに<MULTI>を表示させます。

2 調整つまみを回して発光出力パワーを設定します。

3 発光周波数と発光回数を設定します。
● <SET> ボタンを押して発光回数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
● <SET> ボタンを押して発光周波数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
● <SET> 設定ボタンを押して確認すると、あらゆる設定はいつでも表示されます。

シャッター速度の計算

ストロボ発光過程において、発光停止までシャッターは起動状態を保持すべきです。下記の計算式によってシャッター速度を計算してから、カメラで設定します。

$$\text{発光回数} / \text{発光周波数} = \text{シャッター速度}$$

例えば、発光回数は10であり、発光周波数は5Hzであるとする、シャッター速度は少なくとも2秒になります。

▲ フラッシュヘッドの過熱と損害を防ぐため、引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なわないでください。発光10回後、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なってみる場合、フラッシュヘッドの過熱を防ぐため、発光は自動に停止することがあります。このような場合、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。

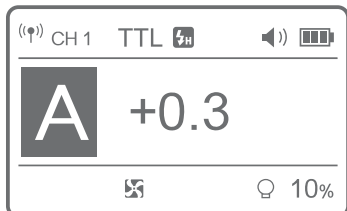
● 反射の強い被写体の場合、暗い背景の前でストロボ発光を使うとより効果的です。
● 三脚とリモコンスイッチをおすすめします。
● 発光出力は1/1と1/2である場合、ストロボ発光を設定できません。
● ストロボ発光時でも「buLb」を使うことができます。
● 発光回数は--に表示された場合、シャッターシャットダウンまたは電池切れまでフラッシュは引き続き発光します。下記の表に示すように、発光回数は制限されます。

最大ストロボ発光回数

発光出力 \ Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	7	6	5	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

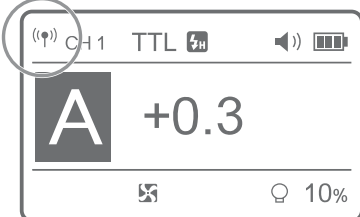
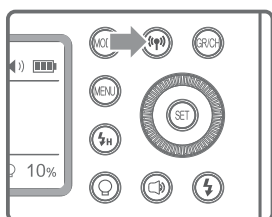
AD600Proは神牛2.4GワイヤレスXシステムを使っており、弊社の他のタイプと完璧に組合わせて使うことができます。スレーブユニットとしてCanon E-TTL II、Nikon i-TTL、Sony、Olympus、Panasonic、Fujifilmに対応でき、マスターユニットに従って自動的に切り替わり、手動で設定する必要がありません。



*AD600Proはスレーブユニットとされます。AD600Proを制御できるワイヤレストランスミッション機能付きマスターユニットはAD360 IIシリーズ、TT685シリーズ、V860 IIシリーズ、V850 II、XProシリーズ、X1Tシリーズ、TT600シリーズ、TT350シリーズなどです。

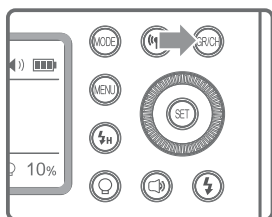
ワイヤレス設定

<(P)>ワイヤレス設定ボタンを押して、ディスプレイに<(P)>を表示させます。

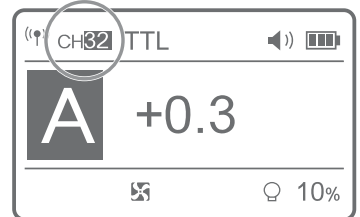


通信チャンネルの設定

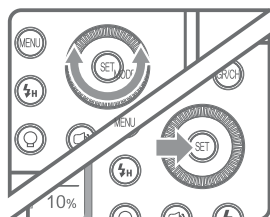
撮影現場で一つ以上のワイヤレスフラッシュシステムがある場合、通信チャンネルの変更またはIDナンバーの設定を通じて信号の干渉を防ぐことができます。マスターユニットとスレーブユニットは同じチャンネル番号に設定されたことを確保するだけで良いです。



1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネル値は点滅に表示されます。

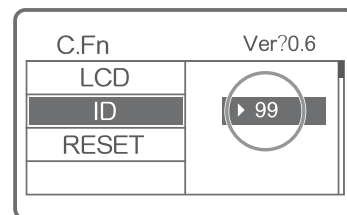


2 調整つまみを回して1~32の中からチャンネルを選択します。



3 <SET> 設定ボタンを押して確認します。

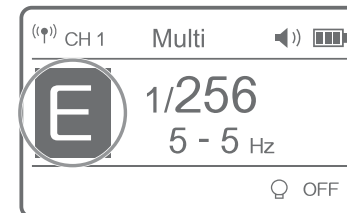
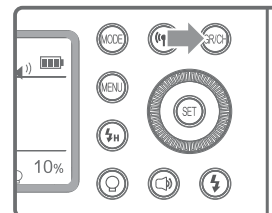
ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送



4 IDナンバーの設定について、MENUボタンを押して、C.Fn-IDに入ると、01~99からいずれかの数字を選択できます（注：マスターユニットはこの機能を有している時だけ、使用できます）。

通信グループの設定

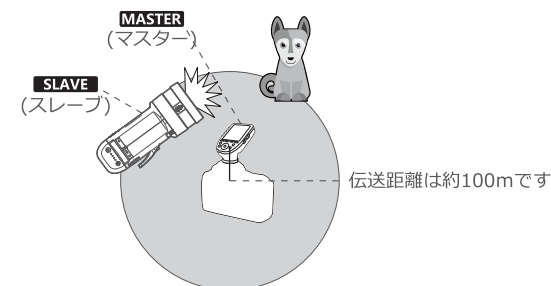
<GR/CH> ボタンを短押しすると、A~Eグループは順次に変化します。



ワイヤレスフラッシュ撮影

配置と操作範囲（ワイヤレスフラッシュ撮影例）

●一つのスレーブユニットを使って自動発光撮影を行ないます。



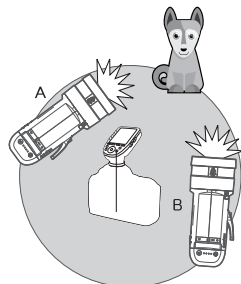
- ワイヤレストランスミッション機能付きのマスターユニットをトランスミッター側とします。
- 撮影前にテスト発光とテスト撮影を行なってください。
- 位置、周辺環境、天気状況などの影響によって、伝送距離はより短くなる場合があります。

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

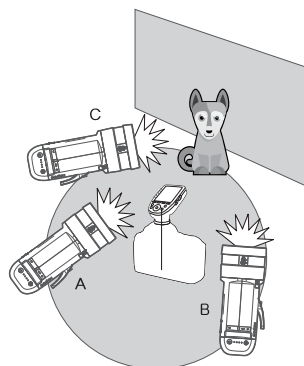
ワイヤレス多灯発光撮影

スレーブユニットを二つまたは三つのグループに分け、光量比（倍率）を変更すると同時に、TTL自動発光撮影を行なうことができます。また、各フラッシュグループに異なった発光モードを設定して撮影できます。

- 二つのスレーブグループによって自動発光撮影を行ないます。



- 三つのスレーブグループによって自動発光撮影を行ないます。



⚠ 神牛2.4Gワイヤレスミスフラッシュの原因及び対策：

1、外部環境2.4G信号干渉（例えばワイヤレス基地局、2.4G wifiルーター、Bluetoothデバイスなど）

→フラッシュトリガーのチャンネル設定（+10おススメします）を調整してください。干渉のないチャンネルを探しますか、作業中において他の2.4Gデバイスをシャットダウンします。

2、フラッシュはすでにリサイクルしましたか、リサイクル速度は連続撮影速度に間に合いますか（フラッシュは準備しており、インジケータはすでに点灯しています）、また、過熱保護または他の異常状態に入っていないことを確認します。

→フラッシュのパワー段階を下げてください。TTLモードである場合、Mモードに変更してください（TTLモードで1回予備発光が必要です）。

3、フラッシュトリガーとフラッシュの距離は近過ぎますか（距離は0.5m以下です）

→フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレス撮影」を起動してください。

X1シリーズ：トリガーボタンを押したまま、起動し、インジケータが2回点滅することを待ちます。

XProシリーズ：C.Fn-DISTを0-30mに設定します。

4、フラッシュトリガーとレシーバデバイスは低残量状態にあるかかを確認します。

→電池を交換してください（フラッシュトリガーの電池は1.5V使い捨て型アルカリ性電池をしてください）。

C.Fn：カスタム機能の設定

カスタム機能符号	機能	設定符号	設定と説明	使用範囲制限
COLOR	色温度コンスタント	ON	起動	Mノンハイスピードモード
		OFF	シャットダウン	
SLAVE	S1/S2光制御モード選択	OFF	シャットダウン	Mモード
		S1	S1モード	
		S2	S2モード	
MODEL	モデリングランプ	CONT	常時点灯	無し
		INTER	フラッシュのリサイクル消灯	
STANDBY	自動シャットダウン	OFF	シャットダウン	無し
		30min	何の操作もしないと、自動シャットダウンします	
		60min		
		90min		
LIGHT	バックライト点灯時間	120min	無し	
		15sec		15秒後自動消灯
		OFF		ずっと消灯
DELAY	遅延発光	ON	ずっと点灯	無し
		OFF, 0.01~30S	後幕トリガーとすることができます	
UNITS	フラッシュ合計数	2~4	UNITSとALTは合わせて使うべきです。UNITSはフラッシュ合計数を設定します。	Mモード
ALT	トリガー回数	1- 4	ALTはこのフラッシュを設定し、何回トリガーすると、発光します	Mモード
LCD	液晶コントラスト	-3~+3	7段階	
ID	ワイヤレスID	OFF	シャットダウン	ワイヤレスモード
		01-99	01~99からいずれかの数字を選択できます	
RESET	パラメーターリセット	NO		無し
		YES	リセット	

1. <MENU> ボタンを押して、C.Fnメニューに入ります。右上にある「Ver X.X」はソフトウェアのバージョンナンバーを示します。

2. カスタム機能符号の選択

- 調整つまみを回してカスタム機能符号を設定します。

3. 設定の変更

- <SET> 設定ボタンを押すと、カスタム機能番号はハイライト表示されます。
- 調整つまみを回して欲しい番号を設定します。<SET> ボタンを押して確認します。

4. C.Fnメニューの退出

- <MODE> ボタンを押して退出します。

モデリングランプ

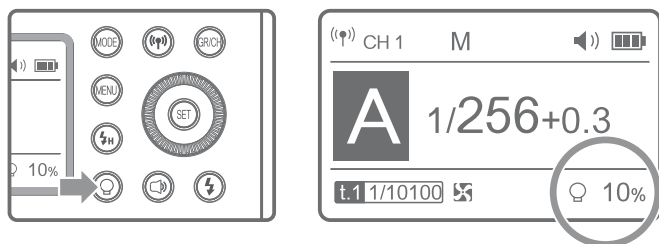
モデリングランプ

AD600Proは38W LEDモデリングランプを搭載しており、2種類の常時点灯モードがあります。

●モデリングランプには三つのモードがあり、OFF、パーセンテージとPROPです。モデリングランプボタンを短押しすると、三つのモードは順次にディスプレイに表示されます（TTLモードの場合、OFFとパーセンテージという二つのモードだけがあります）。

- 1.OFF：モデリングランプをシャットダウンします。
- 2.パーセンテージ：10～100%（過熱を防ぐため、30%以下の場合、ファンは低速に回転します。30%以上の場合、ファンは高速に回転します）。
- 3.RPOP：出力パワーを変更することによってモデリングランプの輝度を調整し、パワーが大きいほど、モデリングランプが明るくなります（過熱を防ぐため、1/64以下の場合、ファンは低速に回転します。1/64以上の場合、ファンは高速に回転します）

●モデリングランプを2秒長押しすることを通じて、モデリングランプのパーセンテージ（10～100%を）を調整できます。



他の応用

外付けワイヤレスコントロール機能

フラッシュはワイヤレスコントロールソケットを内蔵しており、特定のリモコンと組み合わせて使用すると、フラッシュのワイヤレスコントロールを実現できます。FTシリーズリモコンのレーザー側をワイヤレスコントロールソケットに差し込むと、リモコントランスミッターを通じて、フラッシュのパワースイッチと大きさ、フラッシュのトリガーなどをリモートコントロールできます。

また、トランスミッター側をカメラのホットシューに置き、カメラのシャッターを通じてシンクロトリガーを行なうこともできます。

●もっと多いリモコン使用方法について、FTシリーズリモコンの取扱説明書を参照してください。



シンクロソケットトリガー

シンクロソケットの規格はΦ3.5mmであり、ここにシンクロケーブルまたはトリガープラグを差し込み、フラッシュに対しシンクロトリガーを行なうことができます。

保護機能

1. 熱保護

- フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、1/1パワーで75回を超えた快速連続発光を行なわないでください。75回連続発光を行なった後、少なくともフラッシュを5分冷却させます。
- 75回を超えた連続発光を行なった後、直ちに引き続き複数の発光を行なうと、フラッシュ内部の過熱防止機能はイネーブルになる可能性があり、リサイクル時間は10秒以上になります。この現象が起こった場合、フラッシュを約5分間冷却させると、フラッシュは正常に戻ります。

●熱保護が起動すると、ディスプレイに符号
熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	回数
1/1	75
1/2(+0.7)	100
1/2(+0.3)	120
1/2	150
1/4(+0.3,+0.7)	200
1/8(+0.3,+0.7)	300
1/16(+0.3,+0.7)	400
1/32(+0.3,+0.7)	500
1/64(+0.3,+0.7)	1000
1/128(+0.3,+0.7)	
1/256(+0.3,+0.7)	

ハイスピードシンクロモードで、熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	回数
1/1	50
1/2(+0.3,+0.7)	60
1/4(+0.3,+0.7)	75
1/8(+0.3,+0.7)	100
1/16(+0.3,+0.7)	150
1/32(+0.3,+0.7)	200
1/64(+0.3,+0.7)	
1/128(+0.3,+0.7)	300
1/256(+0.3,+0.7)	

2. 他の保護

- デバイスの安全を保証するため、システムは常に予防保護を行なっています。参照として下記に提示符号を提供します。

LCD表示	警告内容
Error 1	フラッシュのリサイクルシステムに故障があります。リサイクルトリガーを行なうことができない場合、再起動してください。再起動しても役立つ場合、メンテナンスしてください。
Error 3	フラッシュチューブの両端に電圧が高過ぎて、メンテナンスしてください。
Error 9	ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しくファームウェアをアップグレードしてください。

仕様

タイプ		AD600Pro
ワイヤレススレーブユニットモード	*ワイヤレスモード (対応カメラ: Canon E-TTL II、Nikon i-TTL、Sony、Olympus、Panasonic、Fujifilm)	
発光モード	ワイヤレスシャットダウン	M/Multi
	ワイヤレススレーブモード	TTL/M/Multi
ガイドナンバー(1/1段)	87((m ISO 100、効果的なりフレクター)	
発光持続時間	1/220秒 - 1/10100秒	
POWER	600Ws	
段階	9段: 1/256~1/1	
ストロボ発光	あり(回数: 100回; 周波数: 100Hz)	
フラッシュ露出補正(FEC)	手動、フラッシュブラケット露出: ±3段階の間で1/3段をステップとして調整できます	
シンクロ方式	ハイスピードシンクロ(最高1/8000秒)、先幕シンクロ、後幕シンクロ	
遅延トリガー	0.01~30秒	
マスク	√	
ファン	√	
フザー	√	
Modelモデリングランプ(LED)	38W/4800K/TLIC: 93	
光制御トリガー	S1/S2	
発光持続時間の表示	√	
表示	マトリクスディスプレイ	
ワイヤレスフラッシュ(ワイヤレス2.4G伝送)		
ワイヤレス機能	スレーブユニット、シャットダウン	
制御可能スレーブユニットグループ	2.4G	5グループ:A,B,C,D,E
伝送範囲(約)	2.4G	100米
チャンネル	2.4G	32グループ (1~32)
ワイヤレスID	2.4G	干渉を避けるため、ワイヤレス伝送チャンネルを変更するほか、ワイヤレスID、マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレスIDを変更することによって、チャンネルを一致させてトリガーします。
電源		
電源	リチウム電池: 28.8V/2600mAh	
フルパワー発光回数	360回	
リサイクル時間	約0.01-0.9秒	
電池残量指示	√	
節電	フラッシュは30分~120分において何の操作もしなかった場合、自動に電源をシャットダウンします	
シンクロトリガー方式	3.5mmシンクロケーブル、ワイヤレスコントロールソケット	
色温度	5600±200K	
色温度コンスタントモード	始終段階動き±75K	
サイズ		
体積(電池を含みます)	250x245x125mm(フラッシュチューブとリフレクターを含みません)	
正味重量 (電池を含みます)	3Kg(フラッシュチューブとリフレクターを含みません)	

トラブルシューティングガイド

何か問題に合う場合、このトラブルシューティングガイドを参照してください。

フラッシュ露出不足または過度。

- ハイスピードシンクロ口を使います。

→ハイスピードシンクロ口を使うと、有効的な発光範囲はより小さくなります。被写体は表示された有効発光範囲内にあることを確保してください。

- フラッシュは手動露出モードを使います。

→TTLモードに変更しますか発光出力パワー設定を変更します。

ファームウェアアップグレード

本製品はUSBポートを通じてファームウェアアップグレードを行なうことができます。ソフトウェアの最新情報及びその説明は公式サイトをご参照ください。

- 出荷する場合、USBアップグレードケーブルを同梱していないため、別に購入してください。本製品のUSBポートはType-Cポートであり、Type-C USBケーブルを使ってください。

- 本製品ファームウェアのアップグレードにGodox G2プログラムソフトウェアのサポートが必要であるため、ファームウェアをアップグレードする前に「Godox G2ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロードしてから、相応するファームウェアファイルを選択してください。

- 製品についてファームウェアをアップグレードしているため、取扱説明書は最新電子説明書に準じます。

メンテナンスと保守

- フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切り、原因を究明してください。

- 本体を振動させないでください。日頃に本体表面のちりを掃除してください。

- 本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な需要はない場合、連続にトリガーしないでください。

- フラッシュのあらゆるメンテナンスは弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。

- 保証期間は1年間です。ランプチューブなどの消耗品は保証範囲内に属しません。

- 自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消されます。メンテナンスする時、関係費用を受け取ります。

- 本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門業者にメンテナンスされた後、はじめて使用できます。

- 弊社は予告なしに技術を変更することがあります。